

# 江別市立病院経営強化プラン【改定版】(案)

に対する市民意見募集の結果と市の考え方について

令和8年3月  
江別市立病院

## ■意見の募集結果

募集期間	令和7年12月19日～令和8年1月19日
提出者数	4人
提出件数	25件

## ■意見に対する考え方の区分

区分	意見の反映状況	
A	意見を受けて案に反映するもの	1
B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの	4
C	案に反映していないが、今後の参考等とするもの	8
D	案に反映しないもの	4
E	その他の意見	8
合計		25

### ※特記事項

パブリックコメントの内容については、提出者の意見をできるだけ正確に表すため、人物を特定できるような固有名詞やご意見以外の記述を除き、可能な限り原文のとおり掲載しております。

## 江別市立病院経営強化プラン【改定版】(案)に対するパブコメ意見一覧

提出者数: 4人 (個人4人、団体0件)

件数: 25件

### ■意見に対する考え方の区分

区分意見の反映状況

A 意見を受けて案に反映するもの

B 案と意見の趣旨が同様と考えられるもの

C 案に反映していないが、今後の参考等とするもの

D 案に反映しないもの

E その他の意見

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の反映状況
1 - 1	<p>「江別市立病院経営強化プラン～ロードマップ～2028～」第9章に「計画期間の中間年度(R8年度)に必要な見直しを行うほか、経営強化プランの対象期間中に市立病院を取り巻く環境の変動等が生じた場合は、必要に応じて計画内容を見直します」とありますが、一年前倒しのR7年度見直しは「市立病院を取り巻く環境の変化」が根本事由ではなく、プラン初年度(R6年度)決算が△8億2千万円と、プランと大幅乖離が生じたためと理解しました。小生事「江別市立病院経営強化プラン～ロードマップ2028～」(素案)に対するパブリックコメントで「ロードマップ～2023～では、R5年度収支均衡が果たせなかったことからして、後継計画であるロードマップ～2028～策定の前提条件が破綻している」等数点の疑問点を例示し「根拠なき願望バラ色プラン」と指摘しましたが、プラン初年度において早くも見直しをしなくてはならないプランの稚拙さが露呈したと理解します。</p>	<p>令和6年度の実績が計画値から大きく乖離したことや、当院を取り巻く医療環境が変化したことを受け、令和8年度に予定していた中間見直しを前倒しております。</p>	E
1 - 2	<p>私事で恐縮ですが、先日骨折し市立病院に短期入院しお世話になりました。僅かの時間でしたが、医師はもとより看護師さん共々、患者の身に寄り添い懇切丁寧な看護姿勢に接し、長谷部病院事業管理者を先頭に関係者一丸となり「元気が出る組織づくり」を柱とした意識改革を含む働き方改革に献身努力されている証と実感しました。 また、これらの努力の積み重ねが6月以降当初計画比を上回る実績額として表れているものと理解しました。</p>	<p>引き続き、病院事業管理者を先頭に職員が一丸となって、地域住民が求める医療を提供し、経営改善に取り組んでまいります。</p>	E

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の反映状況
1 - 3	<p>しかし、11月12日の第3回経営評価委員会に示された「江別市立病院経営強化プラン【改定版】～ロードマップ2028～」(素案)の内容を拝見し、R6年度スタートの経営強化プラン同様「画餅」に終わるのではとの懸念が拭えません。</p> <p>懸念の総論は、現行組織の見直しなど、組織改編に切り込む抜本改革を検討した形跡が伺えず、診療収益増に大きく依拠した「一本足改革案」にしか見えないことです。H21年「市立病院あり方検討委員会」の答申を受け「H23年度で単年度資金収支及び経営黒字化を図る」とした「市立病院改革プラン」や「R5年度収支均衡」を実現目標とした「江別市立病院経営再建計画～ロードマップ2023～」が「画餅」で終わった事の二の舞になるのではとの懸念を拭うことが出来ません。</p> <p>懸念するポイントを具体的に申し上げます。</p> <p>①R10年度純損益2億円余となっており、その柱が診療収益と理解します。しかし医師数がR6年度34人に比しR10年度計画35名と横ばいの状況で、最終年度R10年度の収支均衡に向け、R6年度比18億の診療収益大幅増が可能なのか？その根拠が明らかでなく、強化プランの大黒柱とも云える診療収益が未達成の場合、このプランは根底から崩れ前述同様の「画餅」に終わるとの懸念は拭えません。</p> <p>②医業費用(給与費)について、R6年度44億に比しR7年度47億余と3億6千万の増となっており、ベースアップ実施分等を含んでと理解しました。しかしR8年度～10年度給与費はほぼ横ばいで増加していません。定期昇給及びベースアップ分が含まれていないと推察しますが？真意不明です。もしも推察通りとすれば、事業費用の大層を締める給与費増加分を組み込むとR10年度純損益2億円は、これだけでマイナスとなるのでは思われます？蛇足ですが、政労使会議における高市総理の各界に対する賃金引き上げ要請や、日銀の金融決定会合における金利引き上げ要素に、来春の賃上げが判断材料となるなどベースアップ実施は世の常識と云えると思います。</p> <p>③新設された「病院事業債」の借り換えについて「22億円を上限に企業債申請手続きを進めている」と記載されています。起債年限15年となっていますが、支払い開始時期や利息が不明です。いずれにせよ、長期借入金25億を加算すると47億円と超多額返済額となると思われませんが返済計画が組み込まれていません。素人の疑問ですが、R10年度決算純利益2億円余とありますが、R11年以降に元利金返済が始まると返済額が純利益を上回ると判断しますが、これらが一切組み込まれていないことが摩訶不思議です。</p> <p>即ち、再建計画達成に向け大きな比重を占める診療収益がR10年度収支計画R6年度比約40%増となっており、必達目標として可能な収益額なのか大いに疑問が残り、給与費増加分が含まれてないと目されことや長短借入金支払いが明示されていないとの懸念が拭えないプランを、肯定的に評価することは不可能です。</p>	<p>収支計画は、現在の診療体制を踏まえ、経営強化プラン【改定版】で示す、地域に求められる、総合的かつ専門的な急性期医療を提供する体制を整えていくことを想定して作成しております。また、作成にあたっては、現行制度を基本として、収益や費用を見込んでおります。</p> <p>また、本プランの計画対象期間が令和10年度までとなっており、ご指摘の病院事業債については、当該期間中に生じる支払利息を計上しております。元金償還については令和11年度からの開始となりますが、これらの返済額を見据えた事業運営が重要であると認識しております。</p>	D

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の反映状況
1 - 4	<p>今後のスケジュールは、パブコメ⇒専門委員会⇒評価委員会と進むものと推察しますが、第3回経営評価委員会において、委員の「病院当局から素案を作りましたこれでパブコメに臨みます」という報告を受けた段階であって、評価委員会として判断していないことを確認したい。素案について今日はあくまでも報告を受けたレベル」との問いに、経営企画室長の「全体として了解を受けたと云う事でなく、報告させて頂いた部分と、各委員からの個別意見を踏まえ修正しパブコメに付す」との答弁内容から、パブコメで寄せられる多々の疑問に応え、専門的知識を有するメンバーで構成される専門委員会と評価委員会の真摯な審議を踏むなど、慎重な手順を踏み成文となるものと理解しました。修正すべきは大胆に修正し「危機的状況を乗り切るライトプラン」と評価納得される成案となることを注視しています。パブコメが日程消化のためのパフォーマンスで終わらないことを強く申し入れます。</p> <p>某新聞に、経済官庁元事務次官の言葉として「政策の効果や影響は長時間たたないとなかなか判明しない。失敗と分かった頃には責任者が誰だったか、みんな忘れてしまう。時間の経過で環境が変わったとの言い訳も成り立つ」と含蓄のある一文が掲載されていました。プランによる改革の成否はそんなに時間が掛らないことと判断します。「やっぱり『画餅』だったかと振り返るのは勘弁して欲しい」何故なら「画餅」の付けを被るのは市民なのだからです。</p>	<p>経営強化プランの改定につきましては、パブリックコメントの結果のほか、経営評価委員会のご意見も踏まえ実施いたします。</p> <p>また、経営強化プラン【改定版】につきましては、病院事業管理者のもと、職員が一丸となって、数値目標の達成に向けて取組を進めてまいります。</p>	E
1 - 5	<p>診療収益R6年度比約40%近い増益が必達目標でなく希望的目標でないのか？R8年度予算給与費にベースアップ分等が組み込まれていないと思われるが何故か？長短借入金返済の具体的記述がないのは何故か？R10年度純損益2億円で誘導する手法なのかとの懸念が、独り相撲なら良いのですが。</p>	<p>収支計画は、現在の診療体制を踏まえ、経営強化プラン【改定版】で示す、地域に求められる、総合的かつ専門的な急性期医療を提供する体制を整えていくことを想定して作成しております。また、借入金の返済については、収支計画の中で所要額を見込んでおります。</p>	D
1 - 6	<p>評価委員会及び専門委員会についてですが、両委員会の所掌事項からして、プランに基づく病院の経営状況をチェックすることはもとより、経営強化プランの策定や中間見直しに深く関わる立場にあると認識します。取り分け、委員会の委任を受け、専門性を持ちこれらを調査審議する専門委員会の果たすべき重要性は云うまでもありません。しかし、専門委員会の審議内容が全く伝わって来ません。審議模様まで公開とは言いませんが、概略だけでも公開すべきかと思えます。</p>	<p>専門委員会における審議は、江別市市民参加条例(平成27年6月30日条例第28号)第8条第1項第2号及び第3号の規定により、非公開としております。</p> <p>専門委員会における議論等の概要については、江別市立病院経営評価委員会において報告しており、その内容はホームページ等で公開しております。</p>	E
1 - 7	<p>開示された&lt;素案&gt;を見て如何ほどの市民が、崖っ淵に立つ市立病院経営の現状を認識したか疑問です「心配はしても専門的で難し過ぎて」との声が本音かと思われる。「経営再建を進めるには、市民の理解と協力が不可欠」との基本姿勢に諸手を上げて賛同します。</p> <p>だとすれば病院が置かれている厳しい現状を分かり易く「素のまま」開示することが大事かと思えます。「このままでは共倒れを懸念する」との心情を吐露したトップリーダーの思いと市民の思いがひとつになる情報の開示方法を工夫すべきかと思えます。</p>	<p>現在、市立病院の経営状況等に関する情報は、ホームページや広報誌で公表しております。また、経営強化プランの進捗状況は公開の場で開催される「江別市立病院経営評価委員会」において点検、評価をいただき、ホームページ等で公開しております。</p> <p>引き続き分かりやすい情報発信に努めてまいります。</p>	C

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の反映状況
2 - 1	<p>1 札幌市内特に新札幌周辺の医療機関の拡充が進んでいることを踏まえ、その機能と役割を確かめ、江別市立病院がどう対処すべきかを考慮した検討が必要である。江別市内や江別・南空知医療協議会の範囲の分析・検討だけでは地域の医療動向や市民のニーズが明確にならないので再検討すべきである。</p> <p>特に機能分化・連携強化においてすでに救急医療で取り組まれているような市民の新札幌周辺の大規模病院利用は多く、今後も拡大することは必至であるので、十分な分析検討と位置づけが必要である。</p> <p>2 入院機能の強化はよく検討すべきである。現状で赤字の主要部門であり、スタッフの不足も深刻であり、再建のためには縮減が必要な部門でないか、札幌市内の病院への機能分化と依存を拡大すべきではないか。</p>	<p>本計画の策定にあたっては、外部環境調査、市民アンケート調査などを実施し、これらの結果を踏まえ、入院機能や健診事業の強化など、担うべき医療の重点化など、市立病院が担うべき役割の明確化を図っております。</p> <p>また、これらの調査結果から、入院需要は引き続き伸びていくものと分析しており、入院機能につきましては強化をする必要があると考えております。</p> <p>なお、札幌市内の高度専門医療機関との連携強化は重要であると考えておりますので、引き続き、連携強化に向けた取組を進めてまいります。</p>	D
2 - 2	<p>3 健診受信者の目標、現状から見て過大でないか。受診の現状では札幌市内のほかの機関の利用が多いので市民の意向を大きく変えることは難しい。機器があり担当医師数を増やせば受診者数が増えるとは考えられない。</p>	<p>健診センターにおいては、受診者のニーズを適切に捉え、オプション検査の拡充等の取組を進め、受診者数の拡大を図れるよう取り組んでまいります。また、受診者の獲得については他施設で健診を受診されている方だけでなく、定期的な健診を受けておられない方の取り込みも含めて、取り組んでまいりたいと考えております。</p>	D
2 - 3	<p>4 江別市立病院利用のための交通が非常に不便で利用意欲がわからない。特に大麻から直行するバスがないのはこの方面からの利用が低調の原因の重要な要素になっている。市の公共交通担当部署との協調した対策が必要である。大麻からの電車利用なら桑園の札幌市立病院のほうが時間的に早く着く。実態を確認して考える必要がある。</p>	<p>公共交通は市民生活において重要な役割を果たしており、特に高齢化が進む中で移動手段の確保は重要であると認識しております。いただいたご意見につきましては、市の公共交通担当部門と共有させていただきます。</p>	C
2 - 4	<p>5 評価委員会の構成を再考すべきである。市民公募委員が一人だけでは市民のニーズや提案が反されない。市立病院への利用ニーズが異なる江別、野幌、大麻の各地区から利用経験者などの市民に委嘱する必要がある。さらに同じ市民公募委員がスタート以来変わらないのはいかがなものか？</p>	<p>経営評価委員会の委員構成等につきましては、「江別市立病院経営評価委員会設置要綱」に基づき組織しております。ご提案いただいた内容につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	C

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の 反映状況
3 - 1	<p>抜本的な改革が必要だと思えます。</p> <p>①病院の建て替え。将来を見据えて動線を見直す。吹き抜けを小さくして暖房費削減。雪を溶けないように堆積して夏冷房に使用。医療従事者の人員が足りなくても、少しでも楽にミスを少なくできるようにAIや最先端技術を積極的に取り入れる。</p>	<p>当院の施設は築25年以上が経過し設備関連の老朽化が進んでいることから、施設保全のための改修を行っております。当面は改修計画の中で省エネルギー等の対策を考慮してまいります。</p> <p>AI等の先端技術を主体的に取り入れることについては、経営強化プラン【改定版】において、医療DXを推進することとしており、業務効率化を進めてまいります。</p>	C
3 - 2	<p>②土日祝も診療。そのかわり10迄新患受付。10時からお昼迄予約患者。午後の受付は無し。そうすると平日に働いてる人も札幌に行かずに済むので。</p> <p>ちなみに私は3つ疾患があり江別市立病院等で発見していただきましたが、平日は仕事なので札幌の病院に通っていて、土日祝診療だと江別市立病院に通いたいです。</p>	<p>診療日や診療時間の拡大は現時点では予定しておりませんが、ご提案いただいた内容につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	C
3 - 3	<p>③医療従事者の寮や社宅など病院の近くに建設する。駅からの送迎など、少しでもスタッフに負担をかけずに働いてもらいたいです。</p> <p>なかなかむずかしいと思いますが少しでも近いものになればなと思います。いつも親切に明るく接してくれる皆様ありがとうございます。自分の身体も気をつけて頑張ってください。</p>	<p>市立病院でも、医療従事者の負担軽減の重要性については認識しており、経営強化プラン【改定版】において、働き方改革に向けた取組を明記しております。</p> <p>医療従事者の勤務環境を整え、ワークライフバランスの充実等、働き方改革に向けて取り組んでまいります。</p>	B

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の反映状況
4 - 1	<p>毎日市民の為にありがとうございます ①医師が何の専門医なのか所属学会、今までの経歴など記載してほしいです。</p>	<p>市立病院のホームページでは、医療広告ガイドラインに基づき専門医等の認定資格情報を公表しております。なお、医師の経歴につきましては、個人情報保護の観点から控えさせていただいております。 今後も引き続き、各診療科において医師が行う診療内容等の分かりやすい情報発信に努めてまいります。</p>	E
4 - 2	<p>②毎月の手術の内容や件数などわかりやすく知りたいです。</p>	<p>手術件数については年度ごとの件数は経営強化プラン【改定版】に掲載しておりますが、手術内容や月毎の公表については予定しておりません。 関連する情報として、市立病院のホームページにおいて、病院指標として、症例数の多い疾患について公表しております。</p>	E
4 - 3	<p>③以前みた冊子では、かかりつけ医になるべくかかるように記載されてましたが、軽症の場合ですか？疾患の経過観察はどこまでは市立病院に行ってよいのですか？</p>	<p>国は、外来機能の明確化・連携を強化することで病院・クリニック等の医療機関を、かかりつけ医機能を担う医療機関と、かかりつけ医などからの紹介受診に重点をおいた医療機関(紹介受診重点医療機関)で役割分担することを推進しており、当院においては「紹介受診重点医療機関」を目指し、外来の重点化を図ることとしております。 受診先は患者さまに選択していただくこととなりますが、かかりつけ医機能を持つ地域のクリニック等との連携強化を進めており、入院治療や手術、高度医療機器を使った検査が必要な場合には、当院にご紹介いただけるように取り組んでおります。</p>	E
4 - 4	<p>④一昨年肺ドックを受けた時、結果の返信が1カ月かかりました。疾患も発見されませんでした。もっと短縮してほしいです。また、値段も下げてほしいです。</p>	<p>検査結果の精査や結果をお伝えする医師の体制等の都合で、お時間をいただくことがございます。結果送付までの期間及び検査費用について、今後の参考とさせていただきます。</p>	E
4 - 5	<p>⑤私は3つ疾患があります。札幌の病院に通院してます。江別市立病院に通院したいので土曜日や、または週2で19時ぐらいまでの診療ができないでしょうか？</p>	<p>診療日や診療時間の拡大は現時点では予定しておりませんが、ご提案いただいた内容につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	C
4 - 6	<p>⑥AIや最先端技術設備(AI内視鏡や手術ロボット、CTなど他)を積極的に取り入れてホームページなどや病院の掲示板に載せれば札幌に患者が流れることが少なくなったり移住者も増えると思います。 僕は江別市立病院には期待しています。赤字でも医療は妥協できないので税金も気にしないで補助で使って下さい。市民の為になるのですから。また医療従事者の方々も負担軽減できますし。なかなかうまく進まないことが多いと思いますが、少しでも前に進めればなどと思います。毎年良くなってきていると思いますので頑張ってください。</p>	<p>高度医療機器等の整備は、医療機関における大きな強みとなると認識しておりますが、現在保有している医療機器等の更新を見据え、慎重に検討する必要があると考えております。 また、病院経営にあたっては、自律的な経営と政策医療等に対する一般会計からの公費負担によって、収支均衡を実現してまいります。</p>	C

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の 反映状況
5 - 1	<p>日ごろから、江別市民の命と健康を守るための必要な医療サービスの供給にご尽力されていることに敬意を表します。江別市立病院では令和5年度末に策定した経営強化プランの改定作業を進めており、現在改定案に対する市民の意見を募集していますので、何点か質問と意見を提出いたします。</p> <p>1 強化プラン見直しに至る経過について 令和6年度3月に策定された経営強化プランにおけるパブリックコメントにおいても意見を提出し、初年度の経営数値を踏まえて強化プランを柔軟に見直すように提言いたしました。今回、令和8年度に予定していた見直しを1年前倒して改定プラン案を策定したことは意見が反映された意義のあることだと考えます。</p> <p>前回のパブリックコメントでも、経営数値が前計画である「病院経営再建計画」状況から大きく乖離した要因を検証・分析する必要があると意見しましたが、「新型コロナウイルス感染症が令和3年度以降終息したことを前提とした計画であったが、令和5年度以降もその影響が継続していた」との考え方が示されました。今回の強化プラン改定における背景は、当初プランでは令和6年度決算で2億7千万円の純損失を見込んでいたものが、実際には8億2千万円と大幅に赤字幅が増加したことが最大の理由だと思います。改めて、プラン初年度の令和6年度における事業収支が、当初プランと大きく乖離した要因の検証と分析は必要だと考えます。新型コロナウイルス感染症の終息後も受診患者数が伸びず、一方で物価高騰による諸経費や賃金上昇による人件費の増加が続き、2024年度決算では全国の病院の半数以上、公立病院では83%が赤字決算との報道もある中で、とりわけ道内の公立病院経営では20億を超える単年度欠損となった札幌市立病院をはじめ、経営統合問題で揺れる室蘭市立病院や市立病院の経営悪化により駅前再開発事業が中止となった滝川市など、公立病院の経営環境が大変厳しいことは十分に理解できますが、そのうえで、江別市立病院の令和6年度決算が当初計画を大幅に下回った原因について、医療を取り巻く外部要因だけなのか、江別市立病院に特有の内部要件がないのかについて十分に検証・分析することが必要と考えます。医師の増員、収入の増加以外に根本的に人員の適正化や業務の効率化、徹底的なコストカットなどほかにできないことがないかを真剣に議論する必要があると考えます。</p>	<p>今回の経営強化プランの改定にあたっては、令和6年度決算の経営分析や外部委員によって構成される「江別市立病院経営評価委員会」における点検・評価内容を踏まえた上で作業を進めております。</p> <p>経営評価委員会では、医療機能や医療の質、連携の強化等の進捗状況や、経営の効率化の進捗状況などについて、専門的な視点から、様々なご意見をいただいております。</p> <p>また、経営強化プランの改定にあたっては、地域医療連携の強化に向けた新たな枠組みづくり、医療機能と病床規模の最適化、病床稼働率の向上のための取組の推進等について、専門的見地から具体的に審議する必要があることから、専門委員会を設置し、作業を進めております。</p>	B
5 - 2	<p>2 経営理念と病床数について 改定プラン案には新たに「総合的かつ専門的な急性期医療」の提供が付け加えられ、具体的項目として「消化器系を中心としたがん診療機能の強化と緩和ケアの充実」が追記されています。大腸がんや胃がんなど消化器系のがん罹患率が高いことなども含めて消化器内科・外科の充実が病院経営のみならず、市民の健康を守るためにも大いに期待されるものであり、様々な面から広報活動や周知に努めて市民の受診利用の拡大に努めていただきたいことを願います。</p>	<p>当院が提供する診療内容については、これまでホームページや病院広報誌等を通じて情報発信に努めてまいりました。引き続き、分かりやすく、より多くの方の目に触れるよう広報の充実に取り組み、市民の皆様にご利用される市立病院を目指してまいります。</p>	B

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の 反映状況
5 - 3	<p>また、病床数については、引き続き現状の稼働病床数(267床)を維持することとしており、令和7年度に精神病床10床を削減し、許可病床の適正化を進めることとしています。病床数は実際の利用数及び将来の医療需要に基づき決定されるべきものであり、令和6年度の病床利用率は67.6%に止まり、7割を下回る年度が続いています。令和7年度の第2四半期以降入院患者が増加し、病床利用率が改善されていることが経営評価委員会に報告されていますが、今後80%以上の利用率を見込むことは甘い見通しではないかと懸念もあります。今後も病床利用率の改善が進むよう病院関係者一体となった取り組み強化に期待いたします。</p> <p>現行の稼働病床及び許可病床についても実態に即した見直しが必要であると考えます。次期の札幌医療圏域における地域医療構想策定時に併せて、人口数や医療資源が集中する札幌医療圏域内における、とりわけ江別市と周辺市町村の必要病床数を的確に把握することを求められます。札幌圏域における令和5年度の必要病床数と報告病床数によると、急性期、高度急性期病床が過剰ななかで回復期病床が不足しており、消化器をはじめとする急性期医療の強化と合わせて、回復期病床と在宅医療、訪問医療・看護などの強化も今後求められると考えます。</p>	<p>病床利用率80%以上の維持は、医療資源の最大活用や経営改善の観点からも重要であると考えており、令和7年度直近では達成できている目標になりますので、引き続き病院全体の共通目標として取り組んでまいります。</p> <p>北海道地域医療構想に基づく病床の機能分化につきましては、北海道が所管する札幌圏域地域医療構想調整会議において協議が進められております。</p> <p>地域における医療環境の変化や当院における診療体制の方向性を踏まえ、消化器疾患をはじめとする急性期入院機能を充実させるとともに、地域の医療機関・介護施設等との連携を強化してまいります。</p> <p>不足している回復期機能の強化については、他の医療機関や市と協議し検討してまいります。</p>	C
5 - 4	<p>3 医業収支計画について</p> <p>医業収益について、改定プラン案では当初プランに比較して令和8年度までは減少しています令和9年度及び10年度は増収を見込んでいます。特に最終年度である令和10年度は約86億3千万円と当初計画よりさらに4.7%の増額を見込み、令和6年度実績と比較して29%もの大幅な増額計画となっています。そもそもこの数値目標自体が、診療報酬の改定や人事院勧告等による給与費増、物価高騰による諸費用の増加を見込んだ数値なのか、策定時の診療報酬や物価、給与費をベースに策定したものか判断できません。もし、現行水準を基本に策定されたものであれば、その旨をどこかに記載して明らかにすべきです。</p> <p>一方で増収対策として新たに示されたのは、「患者層及び診療報酬改定の動向を踏まえ、病棟構成を柔軟に見直す」ことのみです。来年度の診療報酬改定が本体分3.09%と見込まれる中で、この目標数値を現実に達成するための更なる取り組みが必要と考えます。費用については概ね7%から8%当初予算から増加することを見込んでいますが、とりわけ、費用の50%以上を占める給与費については、賃上げ状況や人材確保のための処遇面の充実も含めて、現計画にある経費削減の5項目を着実に実行することが不可欠です。</p>	<p>収支計画の策定にあたっては、現行制度を基本として策定していますので、その旨、明記します。</p> <p>給与費をはじめとする各種経費については、強化プラン【改定版】に明記されている経費削減策を着実に実行できるよう努めてまいります。</p>	A
5 - 5	<p>4 資金計画について</p> <p>改定プラン案では、当初プランにはない財政健全化のための新たな病院事業債の導入が計画されている。慢性的に赤字経営による資金不足を、病院事業債を25億借り入れることによってバランスシート、キャッシュフローを改善しその間に事業収支を改善していく計画は理解できます。事業債の返済は強化プラン期間後も長期に続くため、堅実な資金計画の作成が求められます。また、一般会計からの借入金についてもその処理の方策を検討すべきと考えます。</p>	<p>病院事業債(経営改善推進事業)は、経営改善実行計画を策定し収支改善に取り組む公立病院の資金繰りを支援し、経営改善を促進するため、令和7年度から創設された制度です。</p> <p>当院では本事業債を活用し、財務基盤の安定化に繋がりたいと考えております。事業債の返済に対応していくため、持続可能な資金運営を行ってまいります。</p> <p>一般会計からの長期借入金に係る対応については、一般会計と協議を進めてまいります。</p>	B